

# MCJ-CloudHub概要説明

2024年8月28日 大江 和一

国立情報学研究所 クラウド基盤研究開発センター



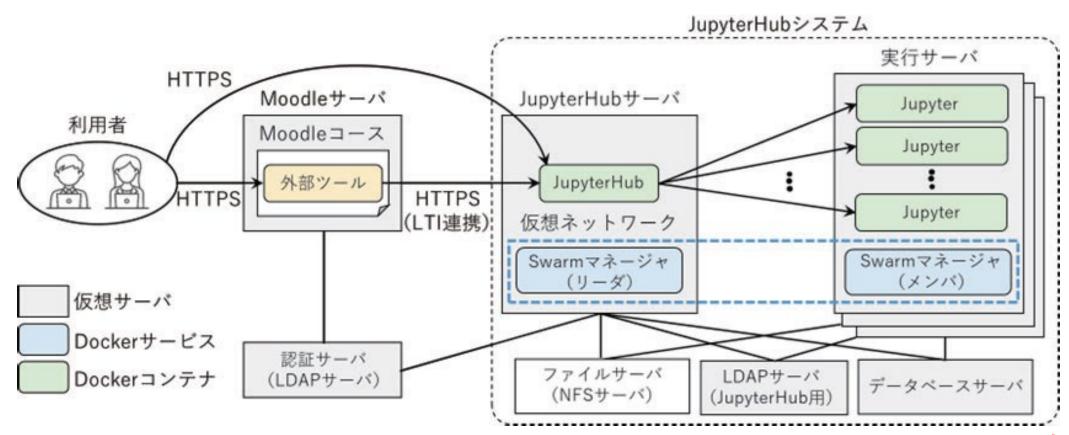
## 講義演習環境比較

	1# <i>//</i> /- ///- TIII		教員向け演習支援機能	1 T 1 = 1#		# 17 //
	構築・管理	構築方法	(課題の配布・回収等)	LTI連携	GPU環境	費用等
						無料
Google Colaboratory						有料版を使うとGPU
(Colab)	不要	不要	なし	なし	あり	等が強化される
		システム管理者(≒				無料
	サーバ上に	教員)が授業単位に				(クラウド費用は
CoursewareHub	構築・管理	行う	あり(Notebook)	あり	授業ごとに準備	ユーザが負担)
		システム管理者(≒				無料
	サーバ上に	情シス教員など)が		あり	システムにGPU	(クラウド費用は
MCJ-CloudHub	構築・管理	1回行う	あり ( <b>GUI</b> )	(Moodleと連携)	環境を準備	ユーザが負担)

- ■Colabは、自習演習向け
- Courseware Hubは、演習と研究の両方を行う教員向け
  - 教員が実装等を理解した上で構築・運用を行う。カスタマイズなども自由に行うことが可能。
  - OSSなので、構築・運用の負担はそれなりに発生。
- ■MCJ-CloudHubは、システムに詳しくない教員も利用対象とするケース向け
  - システム管理者と利用者(教員・学生)を分離し、利用者はGUIからの操作のみで利用可。
  - システム管理者(情シス教員等スキルのある方を想定)も年度ごとに1度構築すれば運用可能とすることを目指している。



### 山口大学で運用中の講義演習システム

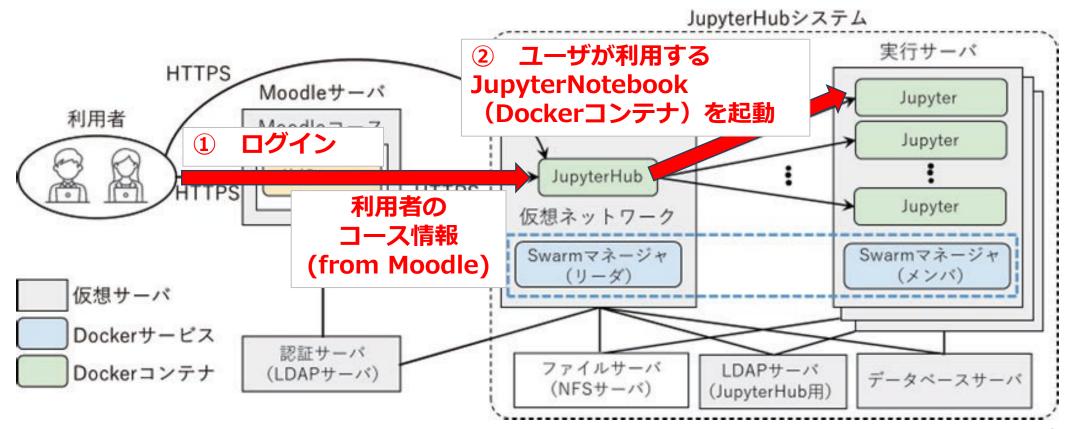


JupyterHub + nbgrader + 山口大学独自拡張

山口大学オンプレミスシステムで運用中



### 山口大学で運用中の講義演習システム



JupyterHub + nbgrader + 山口大学独自拡張

山口大学オンプレミスシステムで運用中



## 山口大学で運用中の講義演習システム

#### ■特徴

- ■コンピュータシステムに詳しくない文系学部の教員・学生でも容易に利用可能で、且つ、管理者の負担も少ない
  - 利用者(教員・学生)は、GUIからの操作のみで演習を行える
    - ■課題の配布・回収・採点は、GUIから全ての操作が可能なnbgraderを採用
  - システム管理者は情シス教員等スキルのある方を想定し、年度ごとに構築すれば運用可能な設計
- ■他機関で運用する上での課題
  - ■各機関のご事情に応じてオンプレミス and/or クラウド上で講義演習システムの構築・運用を可能に
  - ■山口大学オンプレミス環境依存設定や実装の分離
  - ■ユーザ認証や属性情報取得方法の汎用化
  - ■学習管理システムからの履歴者情報一覧取得方法の汎用化
  - ■古い版数のOSSを前提にしたシステム構築



#### MCJ-CloudHubにおける課題の解決方法

- ■各機関のご事情に応じてオンプレミス and/or クラウド上で講 義演習システムの構築・運用を可能に
  - → 構築・運用手順のOCSアプリケーションテンプレート化
- ■山口大学オンプレミス環境依存設定や実装の分離
- → 山口大学固有設定・実装を分離した上でOCSアプリケーションテンプレート化
- ■ユーザ認証や属性情報取得方法の汎用化
  - → MoodleとLTI認証連携で得られる情報のみを用いる
- ■学習管理システムからの履歴者情報一覧取得方法の汎用化
  - → MoodleとLTI認証連携で利用できるNRPSを用いる
- ■古い版数のOSSを前提にしたシステム構築
- → JupyterHub, nbgrader等を最新版にアップグレード、 設定ファイルを更新

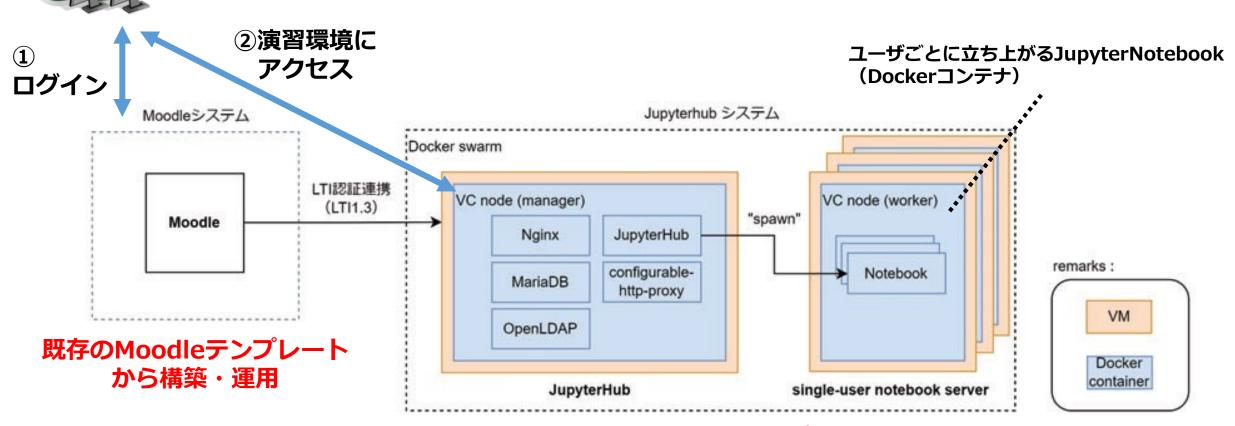


### MCJ-CloudHubの概要



#### https://github.com/nii-gakunin-cloud/ocs-templates

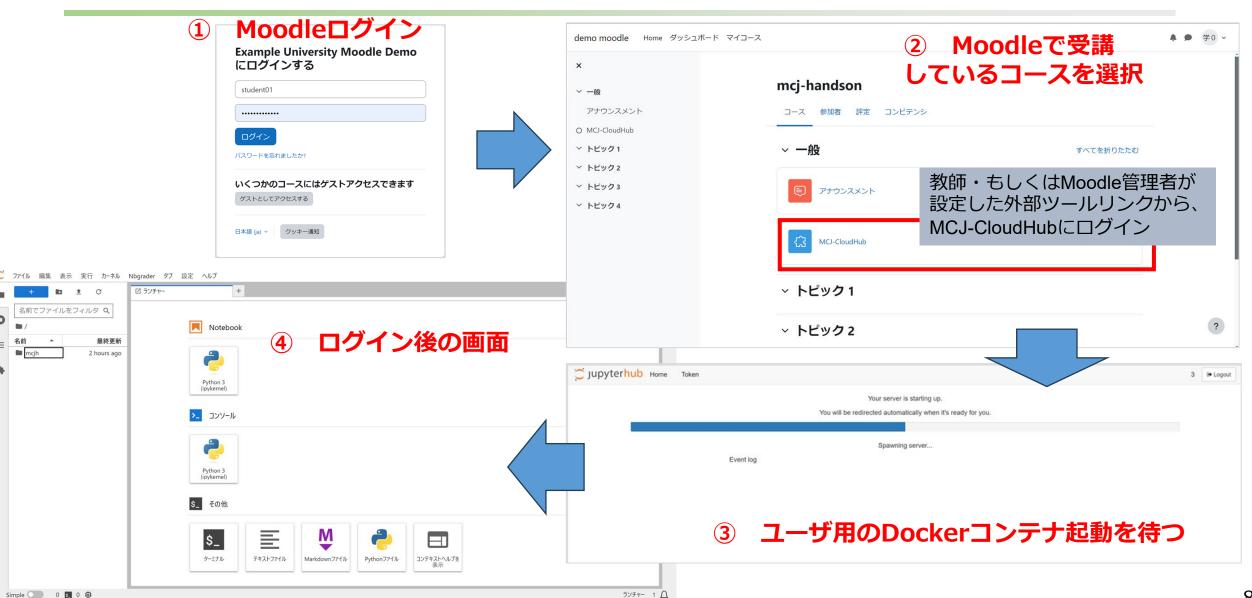
両テンプレートは上記からダウンロードできます!



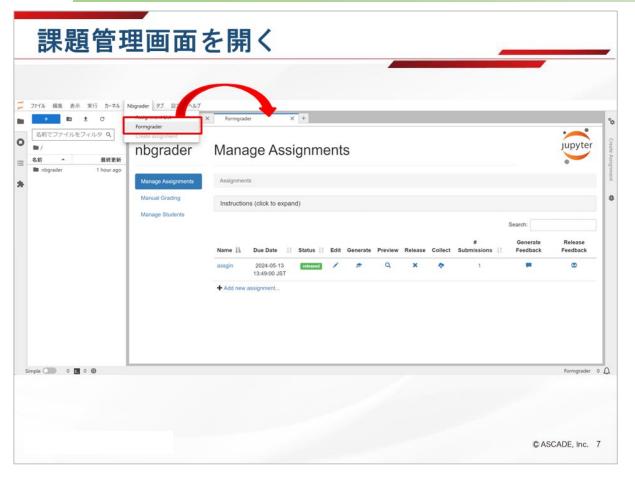
新たに開発したMCJ-CloudHubテンプレートから構築・運用

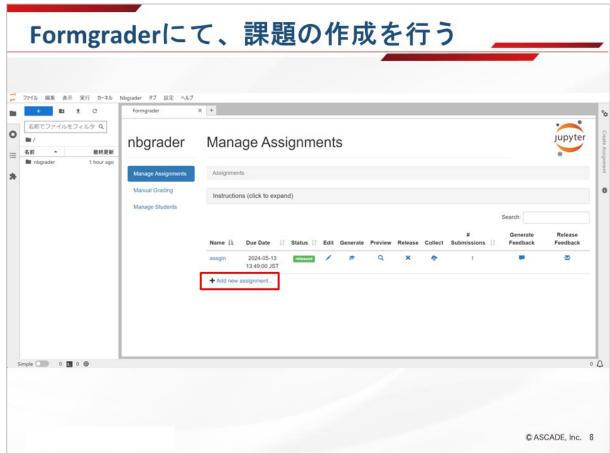


### MCJ-CloudHubへのログイン

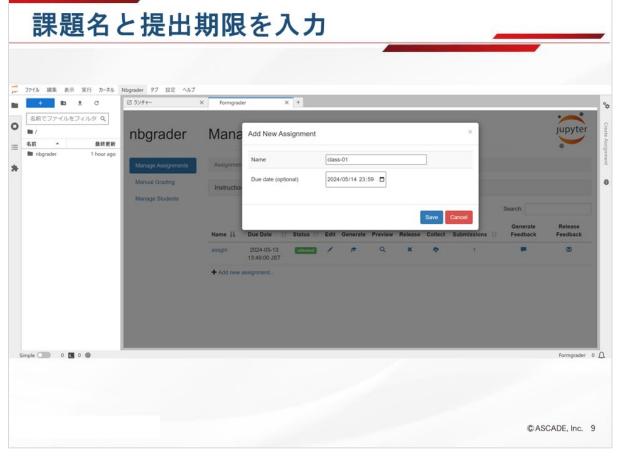


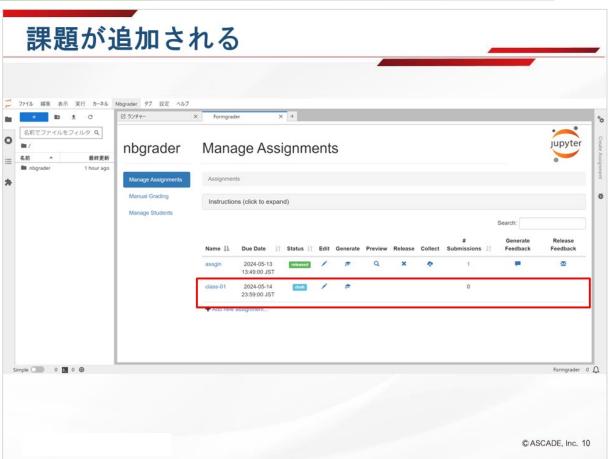




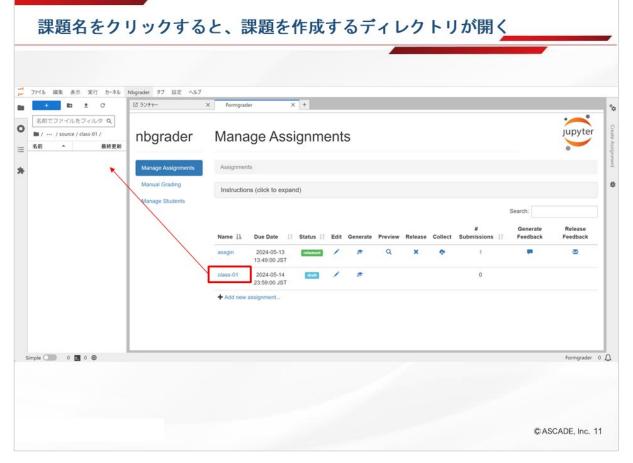


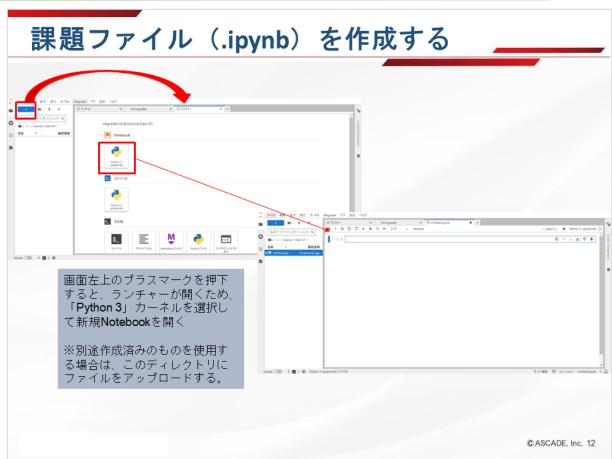




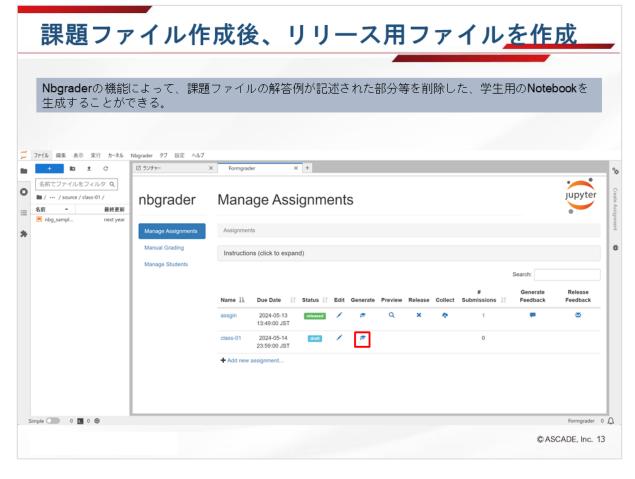


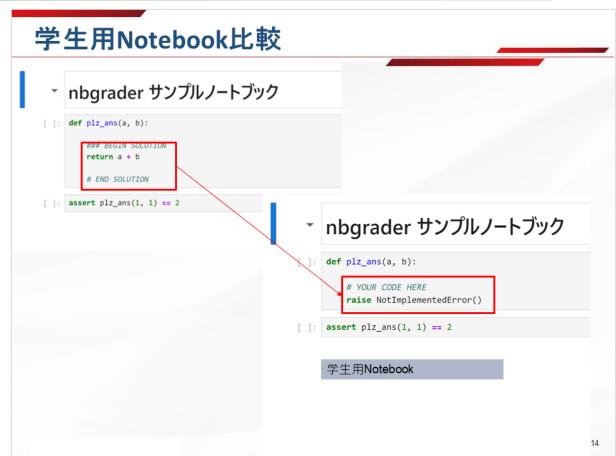




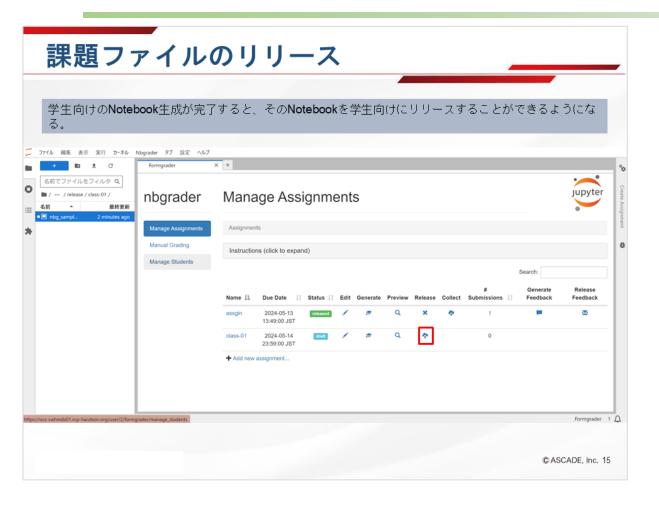








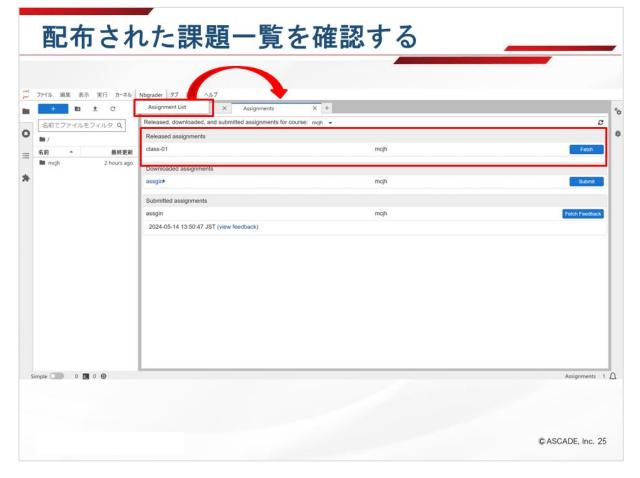


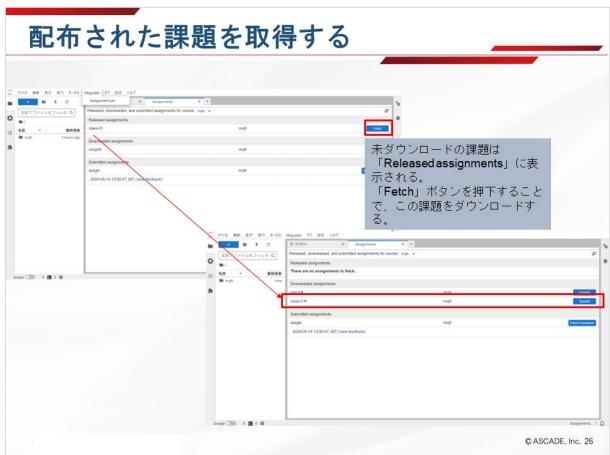


## 課題の回収・採点(自動・ 手動)もGUIからの操作で 行えます!



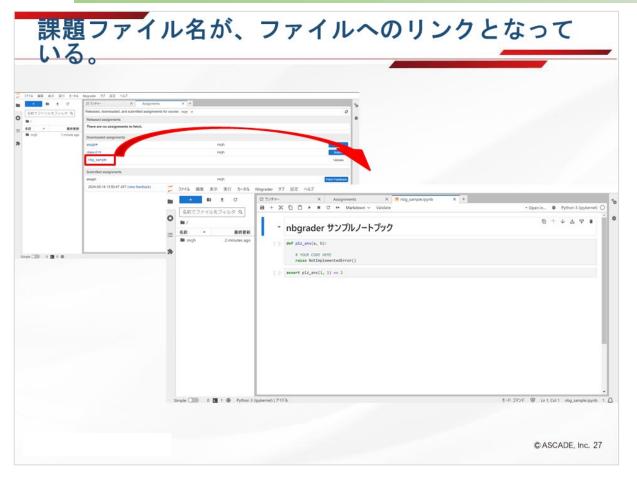
## 課題の取得と提出(学生側)

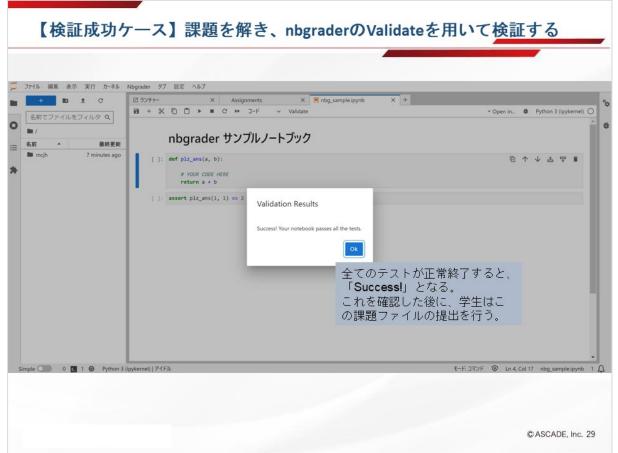






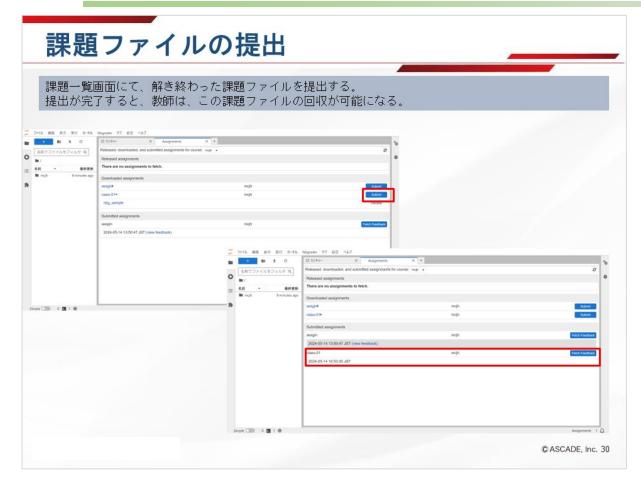
## 課題の取得と提出(学生側)

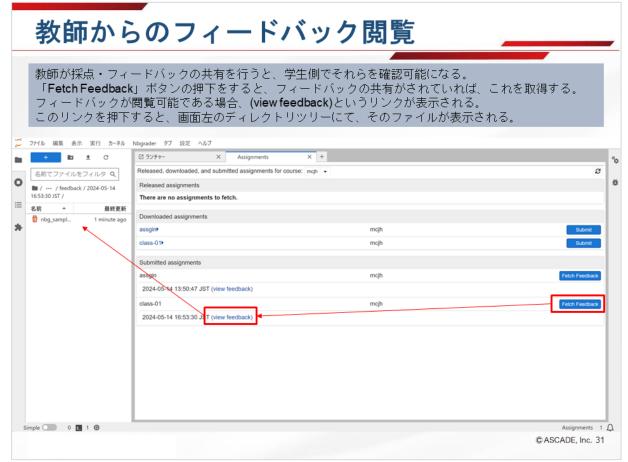






## 課題の取得と提出(学生側)





#### GakuNin Cloud

## 現在の進捗状況と今後の開発計画

#### ■進捗状況

- ■2023年9月: NII開発環境(mdx)上で構築・動作確認済み
- 2024年2月: AWS環境上に試運用環境を構築し、山口大学による教員1名、受講生11名(合計12名)による動作確認済み
- 2024年7月: 山口大学の講義時間の中で試運用(課題の配布、演習、回収、採点、フィードバック)を実施(90名規模)。
- ■今後の開発計画
  - ■山口大学での試運用を引き続き進める
  - ■以下の機能開発を行う
    - 計算資源割当機能
      - ■コースごとにsingle-user jupyter notebook server に割り当てる計算資源を適切に設定する機能
      - ■複数の演習を同時に行った時に必要となる計算資源量を見積もる機能
    - 進捗状況可視化機能
      - ■演習時の各学生の進捗状況可視化機能
      - ■演習終了後に経過時間と各学生の進捗状況を可視化する機能
    - 複数教員による課題の配布・回収・採点機能の実現

## まとめ



#### ■MCJ-CloudHubの特徴

- ■受講生が選択した科目ごとに統一した実行環境を提供
- ■nbgraderからの課題の配布・回収が可能
- ■Web 型であるため授業時間以外でも課題への取り組みが可能
- ■利用者(教員・学生)は全ての機能をGUIからのみで操作可能
- ■OCSから他機関のオンプレミス環境やクラウド環境での利用も可能

#### ■今後の予定

- ■MCJ-CloudHubの機能強化と試運用による品質向上
- ■ハンスオンセミナー等による他機関への利用促進活動の実施



# Thank You.

